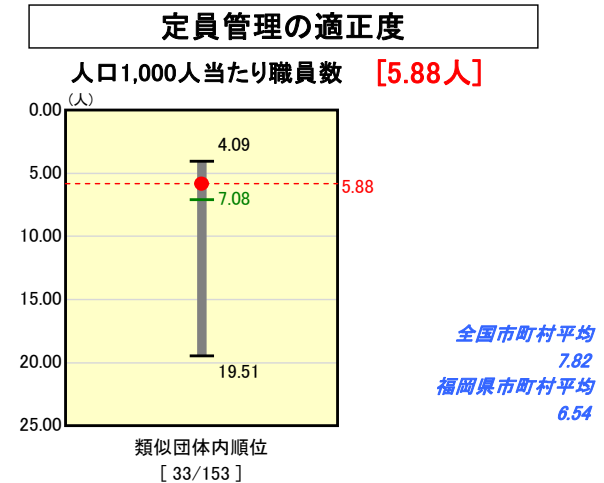
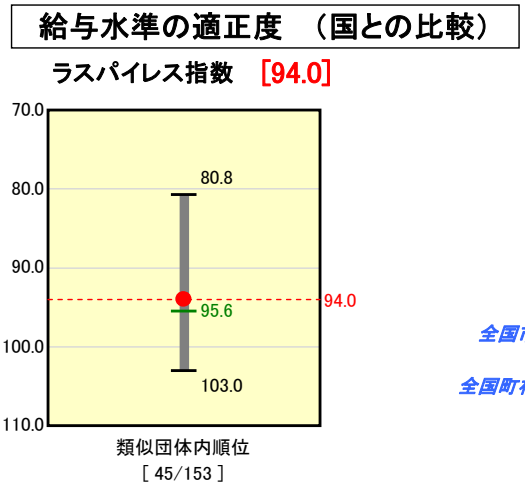
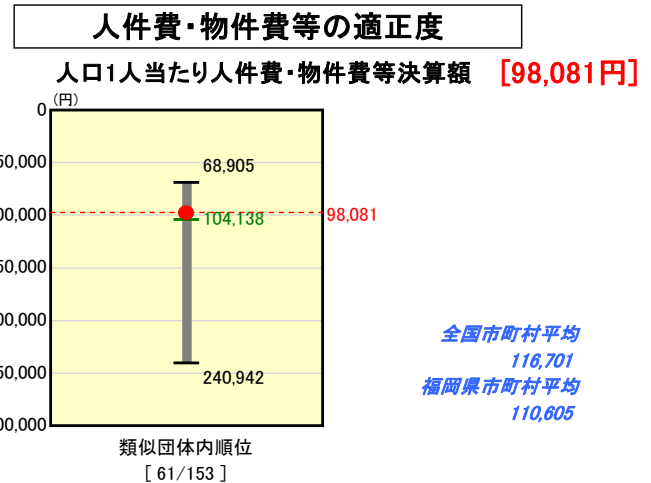
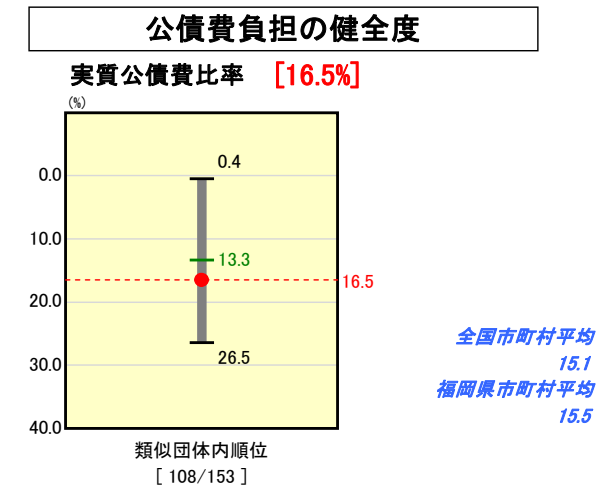
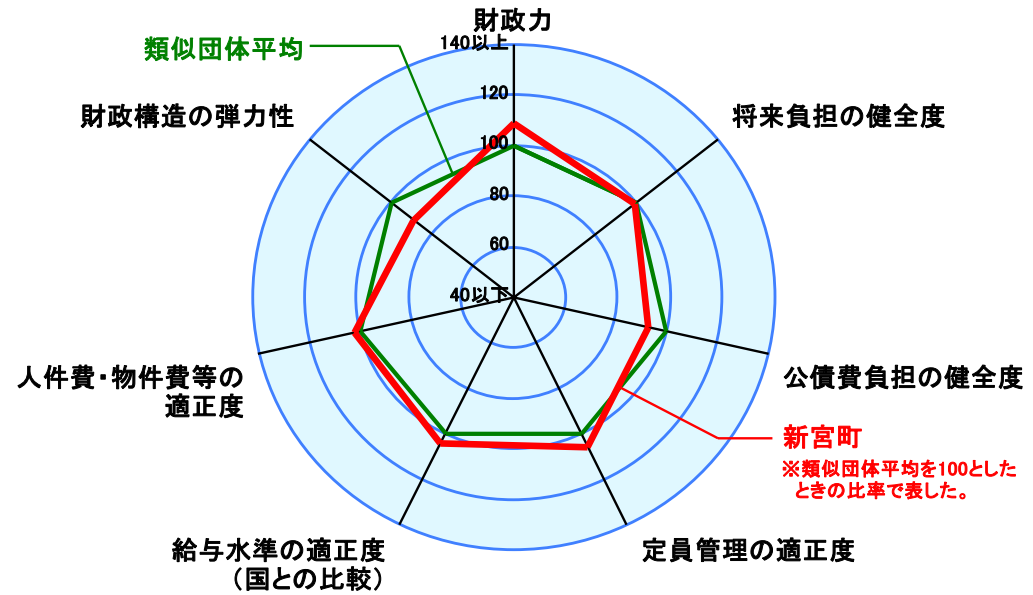
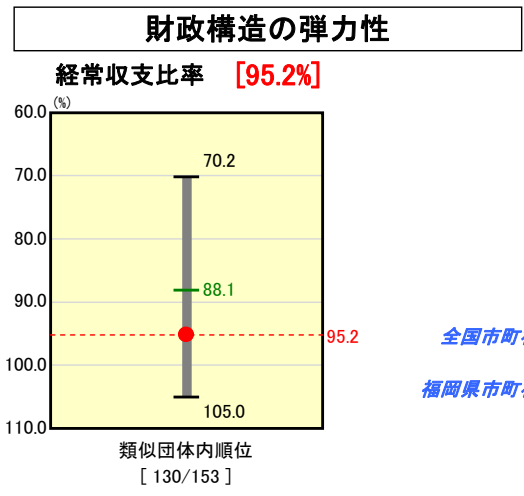
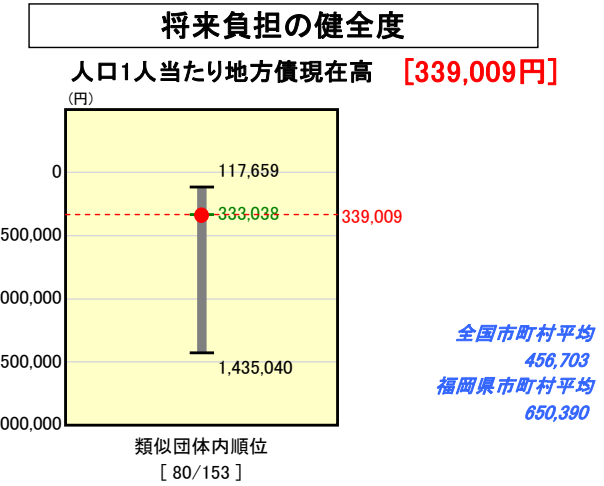
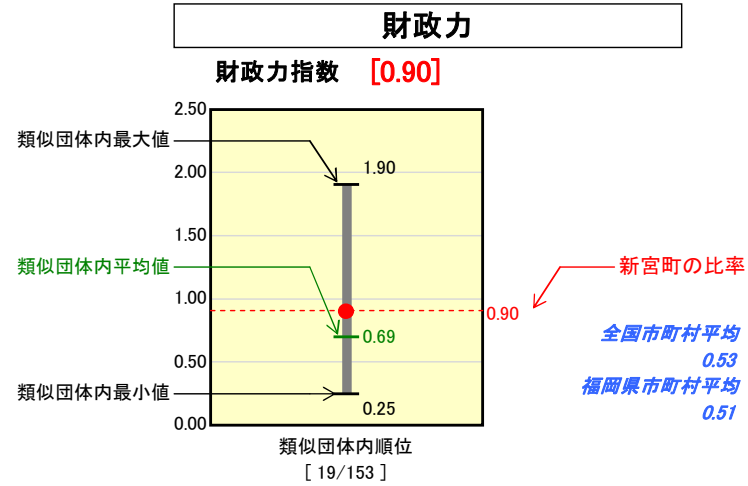


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福岡県 新宮町

人口	23,629人	(H19.3.31現在)
面積	18.91	km ²
歳入総額	8,204,101	千円
歳出総額	7,915,144	千円
実質収支	276,529	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
ここ5年間で連続した伸びを見せており、0.90となっている。高齢化率は15.0%(H19.3月末)と低く、人口の増加傾向が続いていることや、市町村民税(所得割)・所得譲与税の収入が好調であったことにより基準財政収入額が伸びたこと、また、中学校の生徒・学級数が減少するなど基準財政需要額が下がったことにより財政力指数は上昇した。今後、税の収納率向上に努め、歳入を確保すると共に、今後とも経常経費の削減に努める。

【経常収支比率】
地方交付税の減少や扶助費、公債費、玄環境組合など一部事務組合への負担金が増加した結果、95.2%と、対前年比1.3%上昇した。「集中改革プラン」に掲げたとおり補助金等の整理合理化(H18年度47百万円削減)や内部管理経費の見直しなど計画的な経常経費の削減に努めると共に、地方債発行の抑制など将来にわたる経常収支比率の改善に努める。

【人口1人当たりの人件費・物件費等決算額】
類似団体と比べて低くなっているのは、類似団体を下回る職員数で業務を行っているもので、今後とも物件費など更なる経費削減に努める。

【ラスパイレス指数】
類似団体に比べて低くなっている。今後とも透明性の高い給与体系を維持する。

【人口1人当たりの地方債現在高】
近年、投資的経費の抑制に伴い、新規地方債の発行を抑制しているが、中心市街地整備事業を実施中であることから、今後も他事業における地方債発行の抑制等により類似団体平均を大きく上回らないよう努める。

【実質公債費比率】
玄環境組合が建設した古賀清掃工場建設の地方債償還に伴う一部事務組合負担金により実質公債費比率は高水準である。また、今後中心市街地整備事業や公共下水道事業などに伴う地方債発行が見込まれることから、他事業における地方債発行の抑制等により、実質公債費比率の上昇を抑える。

【人口1,000人当たり職員数】
類似団体より1.20人少なく、適正な規模であるが、今後、公共下水道事業や中心市街地整備事業の進捗、将来的な人口の増加が見込まれることから大幅な職員の削減は難しいと考えられる。しかし、厳しい財政状況を考慮すると、計画的な定員管理を行い、サービスの向上と職員の適正配置が不可欠であり、平成23年度までに対平成19年度比△4.7%削減を目指す。